



平成23年第4回定例会が、12月15日に開かれまし
た。
補正予算、条例の改正などの議案を審議し、いず
れも原案のとおり可決しました。
また、審議した議案のあらまは、次のとおりで
す。

23年度補正予算

◎一般会計補正予算
2820万円を追加し、予
算額は8億3210万700
0円となりました。

◎国民健康保険事業特別会計
補正予算
332万5000円を減額
し、予算額は17億517万2
000円となりました。

◎介護サービス事業特別会計
補正予算
10万9000円を減額し、
予算額は6974万1000
円となりました。

◎簡易水道事業特別会計補正
予算
196万2000円を追加
し、予算額は7億9506万
9000円となりました。
補正の主なものは、修繕料
などです。

◎国民健康保険事業特別会計
補正予算
332万5000円を減額
し、予算額は17億517万2
000円となりました。
補正の主なものは、人件費
などの精査です。

◎公共下水道事業特別会計補
正予算
234万4000円を追加
し、予算額は8億3154万
8000円となりました。
補正の主なものは、北檜山
下水処理場の光熱水費、修繕
料などです。

◎病院事業会計補正予算
収益的収入及び支出におい
て、1119万3000円を
減額し、予算額は12億622
2万7000円となりました。

補正の主なものは、人件費
などです。

条 例

◎基金条例の一部改正
町が設置する目的基金の中
で小額の基金残高となったも
のを整理するため、条例の一
部を改正したものです。

◎町有住宅管理条例の一部改
正
減免又は徴収猶予並びに管
理の準用に関する規定につい
て、町営住宅管理条例との表
記の統一及び整合性を図るた
め、条例の一部を改正したも
のです。

◎定住促進住宅管理条例の一
部改正
減免又は徴収猶予並びに明
渡請求に関する規定につい
て、町営住宅管理条例との表
記の統一を図り、さらに督促
条項及び保管義務条項（迷惑
行為）を追加し、追加した分
の条項整理を図るため、条例
の一部を改正したものです。

意見書

◎漁船用軽油にかかる軽油引
取税の免税等に関する意見
書

国民に対する水産物の安定
供給とともに、これに不可欠
の前提となる漁業者の経営安
定を維持するため、漁船に使
用する軽油にかかる軽油引取
税の免税、農林漁業用A重油
にかかる石油石炭税の免税・
還付措置について恒久化し、
地球温暖化対策税について
は、漁業者の負担が一切増え
ることのないよう万全の措置
を講じるよう要望するもの
です。

提出議員 平澤 等
賛成議員 石原 広務
同 小平 久
同 細川 伸男
同 菅原 義幸

◎原子力発電からの脱却と自
然エネルギーの推進を求め
る意見書
政府は、原子力発電の『安
全神話』が崩壊し、国民の信

頼を大きく失ったことに目を
向け、これまでのエネルギー
政策の転換を早期に進めるよ
う次の事項について要望する
ものです。

①原発から再生可能な自然工
ネルギー（太陽光・太陽熱、
風力、水力、地熱、波力、
潮力など）への転換を目標
とすること。

②原発の新規建設や増設を行
わないこと。

③耐用年数を迎えたものから
段階的に運転を中止し、計
画的な廃炉によって原発か
ら撤退すること。

④現行の緊急時計画区域（E
PZ）を拡大すること。

⑤プルサーマル計画を廃止す
ること。

⑥青森県大間原子力発電所の
建設を中止すること。

提出議員 菅原 義幸
賛成議員 平澤 等
同 石原 広務
同 小平 久
同 細川 伸男

◎防災会議に女性の視点を取
り入れることを求める意見
書

防災会議に女性の視点を反
映させるため、中央防災会議
に少なくとも3割以上の女性
委員を登用すること。
また、地方防災会議へ女性
委員を積極的に登用するた
め、都道府県知事や市区町村
の長の裁量により、地方防災
会議に有識者枠を設けること
を可能とする災害対策基本法
の改正を速やかに行うよう要
望するものです。

提出議員 澤田 光子
賛成議員 細川 伸男
同 菅原 義幸

◎国民生活の安心と向上を図
る各種基金事業の継続を求
める意見書

安全社会を構築するため、
医療や介護の充実、子育て支
援の強化などに対する各種基
金制度が設けられ、地方自治
体における迅速かつ柔軟な取
り組みに対して支援が行われ
てきましたが、こうした基金

※内閣総理大臣ほか関係大臣
宛提出しました。

事務局からの
お願い

議会議長宛の案内・請
願・陳情等は、議事
事務局へ提出願います。